

# のぼ ども つうしん 通信

発行：社会福祉法人 和枝福祉会  
のぼ ども家庭支援センター  
横浜市港南区野庭町 6 3 1  
発行責任者：古川 美帆

令和7年4月 第43号

のぼ ども家庭支援センターは18歳未満の児童に関する相談を受ける児童福祉法第44条の2で規定されている児童家庭支援センターです。

春の陽気に包まれながら、気持ちよく過ごせる季節になりました。花粉の影響などは大丈夫でしょうか。新しい門出を迎えた皆さまに、心よりお祝い申し上げます。入園、入学のこどもたちはワクワクドキドキ、進級するこどもたちも環境が変わることへの期待と不安をたくさん抱えていることかと思えます。それを見守る保護者の皆さまもきっと準備に追われながらもこどもたちと同じようなお気持ちかと想像致します。わたくしどもは“こども家庭支援センター”という名の通り、常々こどもの一番の味方でいたいと考えています。不安に寄り添いながらもこどもたちの心身の健康を願い、ストレスや環境の変化に負けない心が育つためのお手伝いをしていきたいと考えます。こどもを中心に、養育者の皆さま、関係機関の方々とよりよい関係を築いていきたいです。

開所12年目の春です。今後も関係機関の皆様と顔の見える関係を築きながら、こどもたちの笑顔を守れるよう、センターは常にこどもと家庭に寄り添ってまいります。引き続き感染症予防に努め、皆さまが少しでも安心できるように業務を行います。

今年度も引き続きよろしくお願いたします。

のぼ ども家庭支援センター長



## のぼ ども 地域交流事業

1月10日に4回目のハーバリウムボールペン制作を行いました。参加者の中にはずっと気になっててやっと来れたと嬉しそうに参加してくれたママもいて、楽しそうに制作されている姿を見て、職員もとても嬉しい気持ちになりました。



2月8日にダーツで遊ぼう♪を実施しました。今回は参加人数が少なかった為、保護者の方もたくさん参加して頂きました。チーム戦では親子ともども大盛り上がり。今回が最後になる6年生は「もう来れないのか」と名残惜しんでくれている姿も中学生ダーツもやりたいなと思った一言でした。

## 職員紹介

新しい仲間が増えました😊



4月からお世話になります。相談員の藤枝と申します。色々とお話を聞かせていただいたり、お子さんたちと楽しく過ごしたいです。漫画を読んだり、映画や舞台を観るのが好きです。これからどうぞよろしくお願い致します。

## のぼ ども 日記

子育て短期支援事業の様子を紹介(\*^\_^\*)

センターでは毎年冬になるとしいたけの菌床を育てています。小さな頭が見え始めたと思えば、立派に傘を広げて成長するしいたけにこどもたちは興味津々！「今度来たときには食べれるかな？」「お水やってあげる！」などと声を掛けたりお世話をしたりしながら、こどもたちなりのやり方で愛情を持って育ててくれています。

植物も動物も生き物を最後まで大切に育てることは簡単なことではないなと実感する今、生き物を育てることの責任感や喜びを知るに至らずとも、その基礎となるものを築き、積み重なる経験の一部になればいいなと感じます。今年度もたくさんのしいたけを収穫し、美味しくいただくことができました😊



**本の紹介**  
「くれよんのくろくん」  
作・絵：なかやみわ  
出版社：童心社

使ってもらえず退屈していたクレヨンたちは、ある日みんなでカラフルな絵を描き始めます。くろくんと一緒に描こうとすると、キレイに描いた絵を黒くされたくない、と仲間に入れてもらえません。そんな中みんながケンカを始め、カラフルでキレイだった絵は色が混ざりぐちゃぐちゃになってしまいました。そこへシャープペンのお兄さんが来て、くろくんの良さを発揮できるやり方を教えてくれます。みんなが持ち味を活かしながら一緒にいるとはどういうことか？前向きに考えられる絵本です。

のぼ ども家庭支援センター  
☎045-840-5092



◆子ども本人及び子育て家庭の相談・支援◆  
月曜日から土曜日まで（祝日、年末年始除く）  
受付時間：9時～17時

